

YELL ～エール～**B l u e r o s e**

バラの花には青色色素がないため、赤色色素を抜いていくという方法以外、品種改良のみで青いバラを作ることは不可能とされてきました。そのため「Blue Rose」には“不可能”とか“有り得ない”といった意味が込められていました。14年に及ぶ研究開発の結果、2008年に日本の企業が青色色素を花びらに持ったバラを発表しました。バイオテクノロジーを駆使して作られたその花には「夢かなう」という花言葉がつけられ販売されるようになりました。

遺伝子組換えによる生物には賛否の議論があるところですが、何事も成功の裏には幾多の失敗がつきもので、度重なる試行錯誤の末に得られた一つの成果であることは確かだと思います。伊丹北高校で学んできた3年間のプログラムを終えようとしている皆さんは、やがて次なる場所へ進んでいきます。それぞれが自分の目標や夢を持って。簡単に達成できることより、何度も挫折を味わい倒れそうになっても、また立ち上がる…そんな姿に私はむしろ賞賛の拍手を送りたいと思います。そして皆さんにとって、伊丹北で一緒に過ごした“3年”がその礎となってくればこんなに嬉しいことはありません。

～翼をひろげて ⑩～ 第4ターム（直前期）～

いよいよ12月に入り、この1年を5つのタームで期間設定したうちの4番目の期間に入ってきました。この時期は入試本番を目前に控え、メンタル的な安定が大切になります。限られた時間の中ですべてをやり直すと考えるより、効率よく力を伸ばすための方策を立てる必要があります。例えば数学では数学Bが取れない…中でも数列の漸化式が弱い…等、単元・テーマを絞り効果的に基礎問題の取りこぼしを削っていく、というように。苦手な科目の苦手な分野は満点が取れなくても7割目標で、全体の得点を引き下げないように心がける。得意な所で高得点を狙う、というように。

そこで数学では1, 2年次でやっていたスキマ学習を“センタースペシャル”として復活しました。みんなの苦手そうな単元をテーマに厳選し限定30部(希望が多ければ部数も増やします)で発行します。希望者は中央廊下に取りに行きましょう。テーマ①「整数問題」、テーマ②「場合の数、確率」を既に置いていますので、是非利用して下さい。

よく言われることですが「急がば回れ」…慌てると、かえって時間の無駄使いをしかねません。落ち着いた気持ちで日々を過ごすようにしましょう。また体調を崩して寝込むことないようにしましょう。ノロウィルスも流行しています。手洗い! うがい! 予防の基礎基本を徹底しましょう。

課題研究 全体発表会 ～展示部門～

12月3日まで中央廊下にて課題研究の成果が展示されていきました。1年間の課題研究を終えようとしている今、総合学科での学びとは一体何だったのかを総括する時期にきています。伊丹北高校が学校として提供した3年間のプログラムは諸君にとってどうだったのか、何を変え何が得られたか。その答えは諸君の中にこそあります。また今すぐに分からないことが、何年か後にわかることもあります。



展示された作品を見ていて、本当に多岐にわたる分野で研究をしてきたなあ、ということを感じました。展示作品として特に充実していると思ったのは「児童・被服」の分野でした。子どもの発達段階を意識して作られた絵本やおもちゃは、製作者の子どもに対する愛情が感じ取れました。その中には幼児教育の分野へ進む人も多く、大学での学びそしていずれはその道のプロとして課題研究で学んだことや考えたことが活かされていくことと思います。大学に入ったら…その職に就いたら…それで終わりではないのです。プロとして働き始めた時に、どのようにそれぞれの社会の中で活躍していける人になれるか、それこそが「産業社会と人間」のスピリッツではないかと思うのです。

保健LHR 「頑張れ受験生！集中力や記憶力を高める食事」

11月29日に保健LHRとして「食育」をテーマに伊丹健康福祉事務所 健康管理課より講師を、お招きし講話をしていただきました。11期生諸君が答えた食に関するアンケートを元に、高校生が気をつけなければいけない栄養バランスなどに関するお話をいただきました。若い間はあまり気にしないようなことでも、食事というものがどれだけ自分の身体に大切なものであるか、よくわかったと思います。また身体の中で作り出せないDHA(ドコサヘキサエン酸)という物質が脳の記憶学習中枢を構成していて、それらがさんまやぶり、あじなどの青魚の脂肪に多く含まれているという話もありました。いずれ一人暮らしをする人もいますので、自分の食というものにもっと関心をもち、親任せにだけするのではなく自分でも管理できるようになっていきたいと思います。

